

取扱説明書

直昇電動オーバードア ソーラー/DC12V仕様

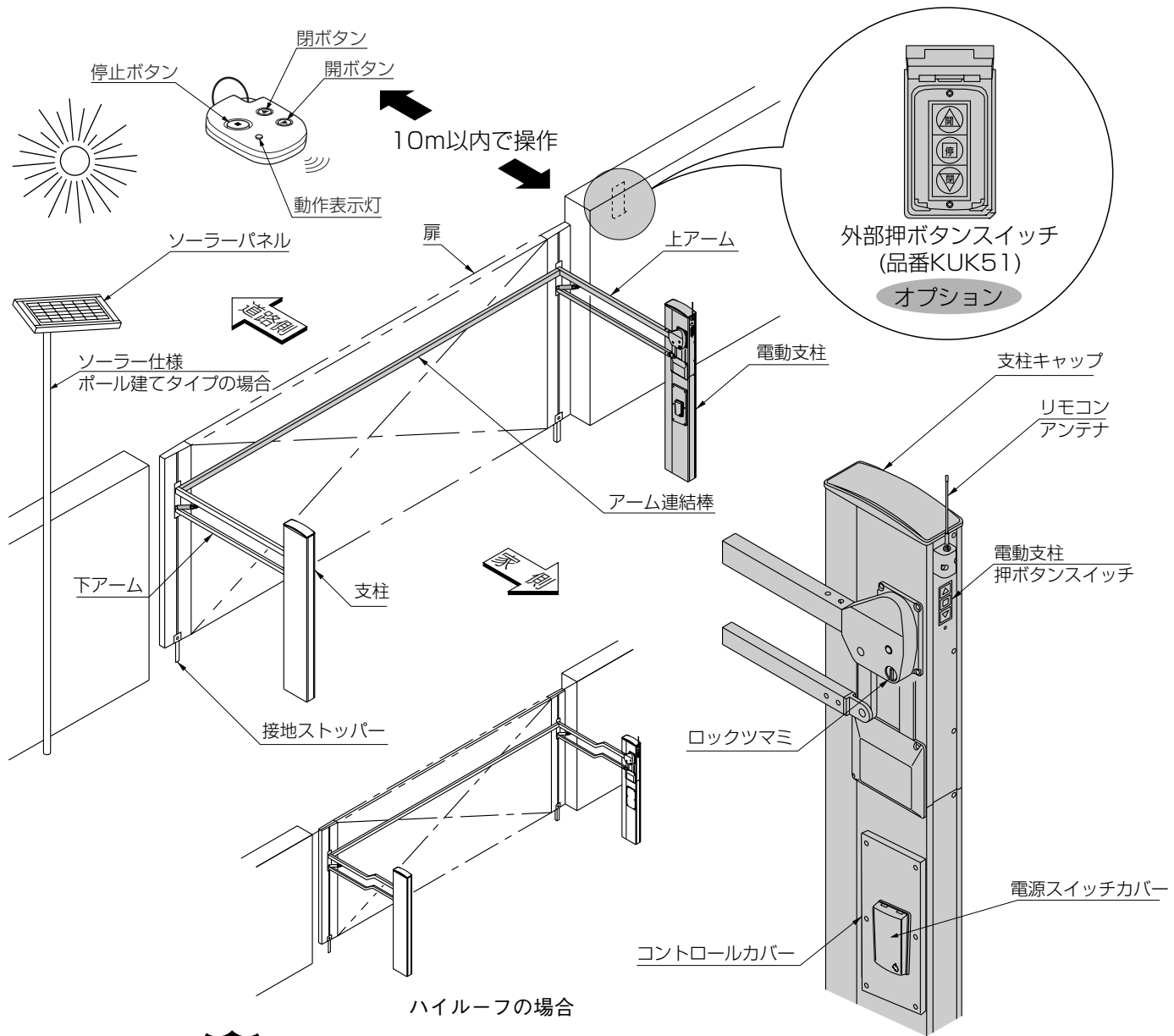
このたびは、東洋エクステリア製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

もくじ

1. 各部の名称	1
2. 安全のために必ず守ってください	2
3. 電動支柱機能の設定方法	3
3-1 コントロールボックスの名称およびはたらき	3
3-2 リモコン送信器の登録方法	4
3-3 リモコン送信器の追加登録方法	5
4. 使用方法	6
4-1 電動支柱、電源の入れ方	6
4-2 電動で動かさないときの操作方法	6
4-3 ロックツマミの使用方法	7
4-4 安全装置について	7
4-5 ソーラー仕様の場合の使用方法	8
4-6 トランス電源ユニットの使用方法	9
4-7 リモコン送信器での操作方法	10
4-8 電動支柱押ボタンスイッチでの操作方法	11
4-9 外部押ボタンスイッチ(オプション)での操作方法	12
4-10 ご注意とお願い	13
5. 調整および交換方法	14
5-1 リモコン電池の交換方法	14
5-2 調整について	14
6. お手入れについて	15
7. 修理を依頼する前に	16
8. 保証と修理	17
9. 別売り品	18
10. 仕様	18
保証書	

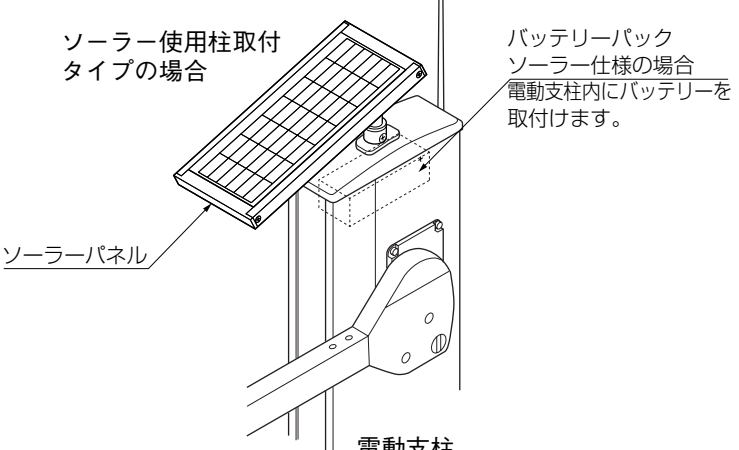
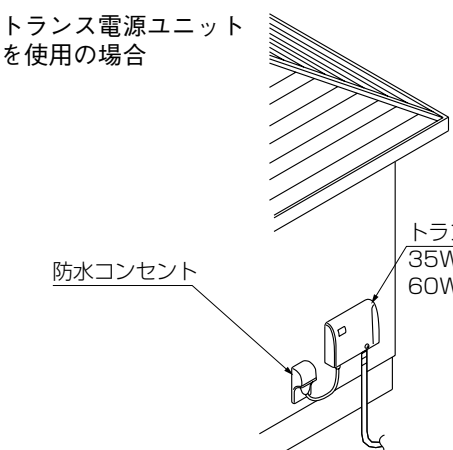
- 製品を安全に正しくお使いいただくために、ご使用になる前にこの取扱説明書を最後までお読みください。お読みになったあとは、たいせつに保存してください。

1 各部の名称

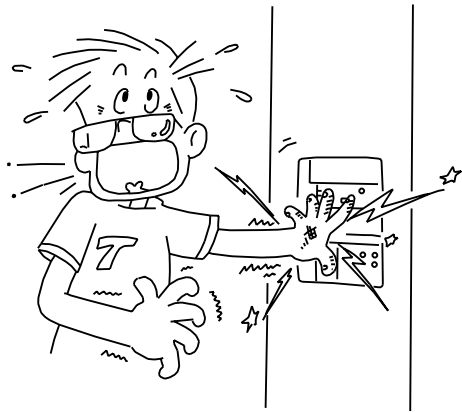


ご注意

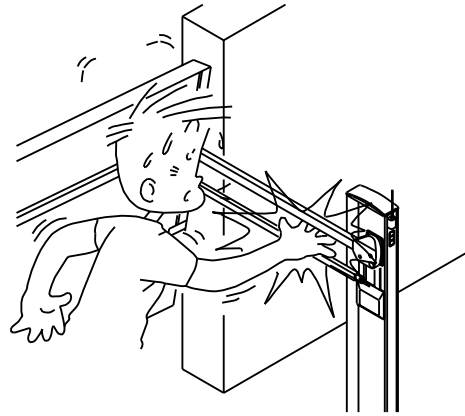
●門扉サイズ、種類により外観は多少異なります。



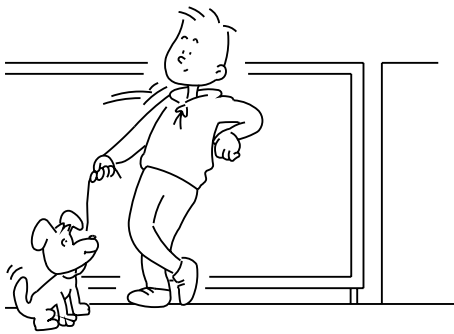
2 安全のために必ず守ってください



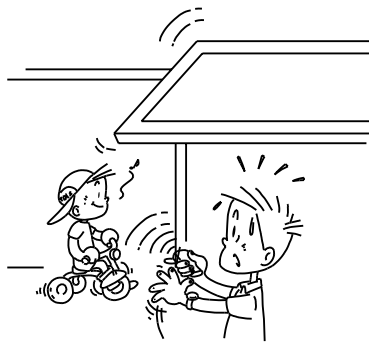
電動支柱内の配線にはふれないでください。
感電する危険があります。



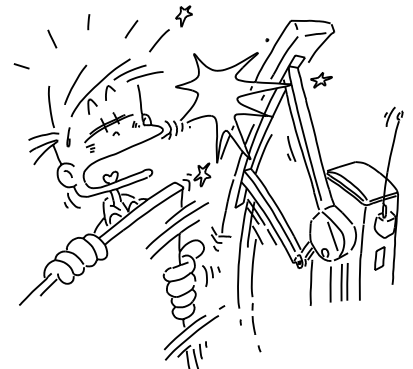
扉が開閉しているとき、アームと支柱の間に手をはさまれないように注意してください。
ケガをする危険があります。



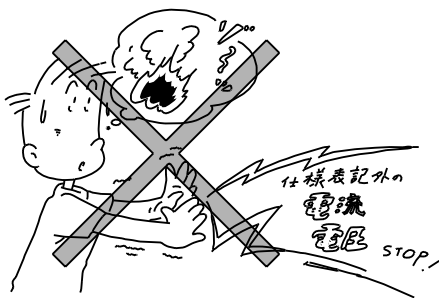
扉に乗ったり、寄りかかったりしないでください。
ケガをする危険があります。



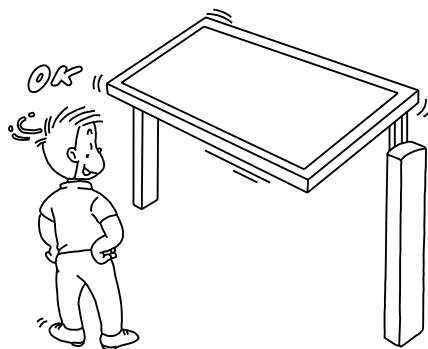
扉の開閉時には、障害物がないことをご確認ください。特に小さいお子様には十分注意してください。思わぬケガをする危険があります。



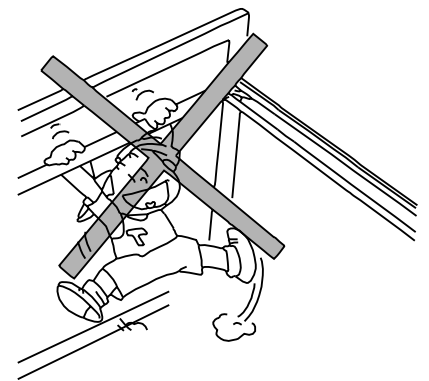
扉はアームからはずさないでください。扉をはずすとアームが勢いよく跳ね上がり危険です。



仕様に表記された電流・電圧以外の電源は使用しないでください。
火災、感電の危険があります。



扉の開閉は操作が終わるまで、必ず目視確認してください。

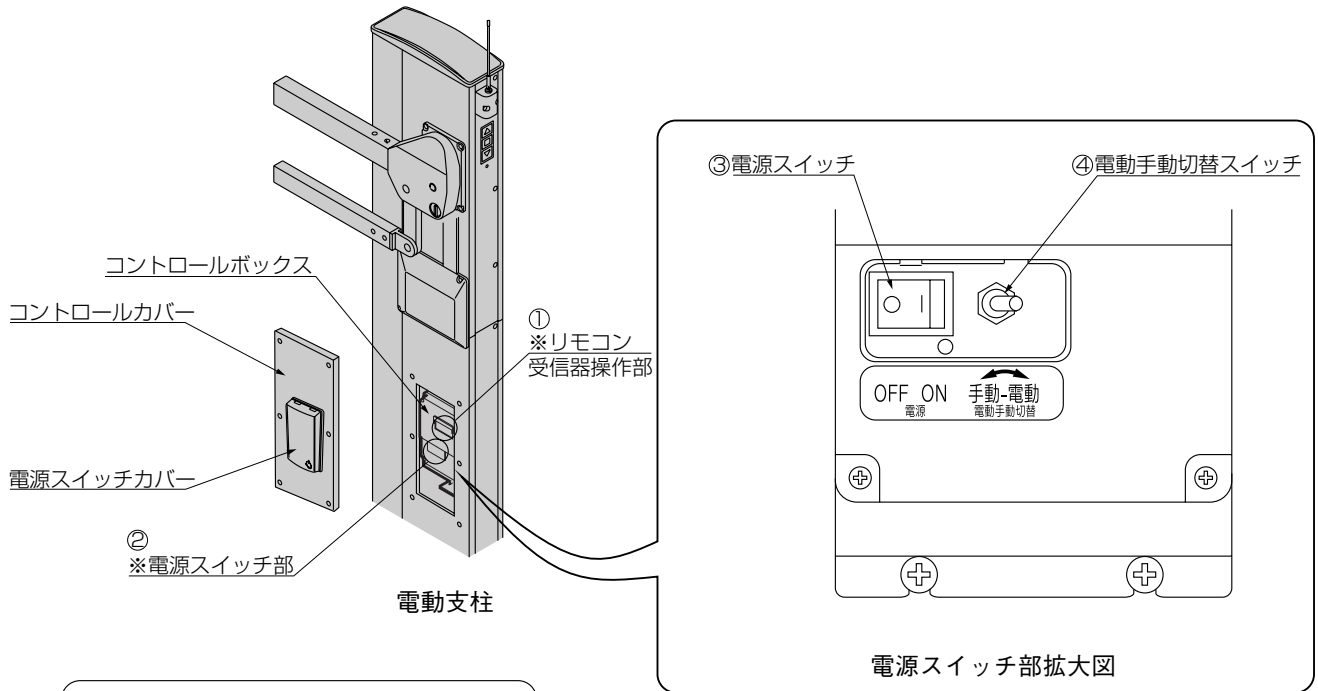


アーム連結棒には、ぶらさがないでください。
ケガをする危険があります。

3 電動支柱機能の設定方法

3-1 コントロールボックスの名称およびはたらき

コントロールボックス内の各スイッチ設定時のはたらきをご確認ください。



※①リモコン受信器操作部
②電源スイッチ部

カバー（透明）

操作するときは、カバーをはずしてください
操作後は、必ずカバーをはめてください

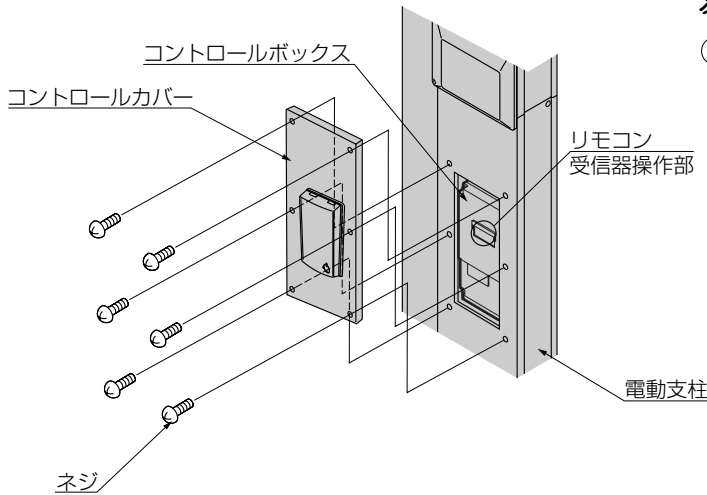
	名 称	はたらき
①	リモコン受信器操作部	リモコン送信器を登録・抹消するときを使用します。
③	電源スイッチ	電動支柱の主電源を「ON／OFF」させるスイッチです。 「OFF」にするとすべてのコントロール機能が停止します。
④	電動・手動切替スイッチ	手動で扉を動かすときに使用します。 ・手動で扉を動かすときは、スイッチを手動側にしてください。 ・電動で扉を動かすときは、スイッチを電動側にしてください。

ご注意

・コントロールボックス内の配線にはふれないでください。感電する危険があります。

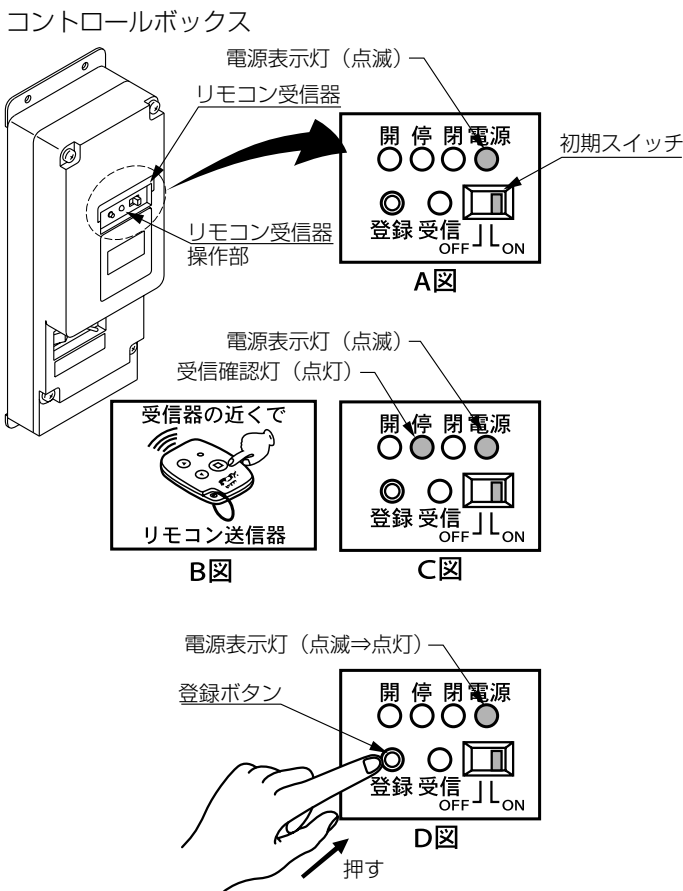
3-2 リモコン送信器の登録方法（初めて登録するとき）

- リモコン送信器で操作する場合は、リモコン受信器に登録をしてください。
- リモコン送信器は、コイン型リチウム電池（CR2032）を1個使用します。出荷時、電池は送信器に内蔵されています。



次の手順で登録してください。

- ① 電動支柱のコントロールカバーをはずします。
 - ・ネジ6本をはずし、コントロールカバーの下側を手前に引っ張るようにしてははずします。



- ② リモコン受信器の初期スイッチを「ON」にします。
 - ・電源表示灯が点滅（緑色）します。（A図参照）
 - ・点滅しない場合は、初期スイッチを一度「OFF」にし、もう一度「ON」側にします。
- ③ リモコン受信器の近くで、登録するリモコン送信器の「停止」ボタンを押します。（B図参照）
 - ・リモコン受信器の受信確認灯「停」が点灯（赤色）し送信器登録が完了します。（C図参照）
- ④ リモコン送信器の登録完了後、リモコン受信器の登録ボタンを押して登録または電源表示灯が「点灯」に変わるまで待ちます。（D図参照）
 - ・電源表示灯が「点灯」になり、受信器登録が完了します。
- ⑤ 電動支柱のコントロールカバーを取付けます。
 - ・ネジ6本で取付けます、ネジの締め忘れのないように注意してください。

ご注意

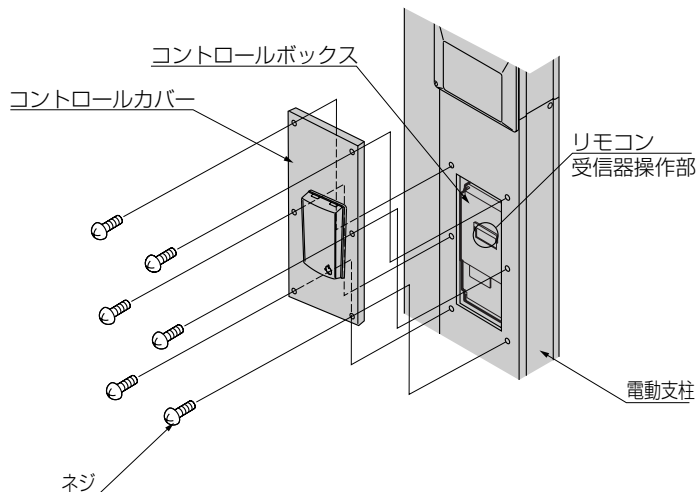
- 受信器への登録は、必ず電源表示灯が「点滅している1分間」に操作してください。
- 初期スイッチを「OFF」にすると、リモコン送信器の登録がすべて抹消されます。登録が抹消された場合、リモコン送信器での操作はできなくなります。

3-3 リモコン送信器の追加登録方法 (リモコン送信器を増やすとき)

別売り品で複数のリモコン送信器 (KYZ77) をお求め頂いたお客様は追加登録してください。
リモコン受信器1台につきリモコン送信器16台まで登録可能です。

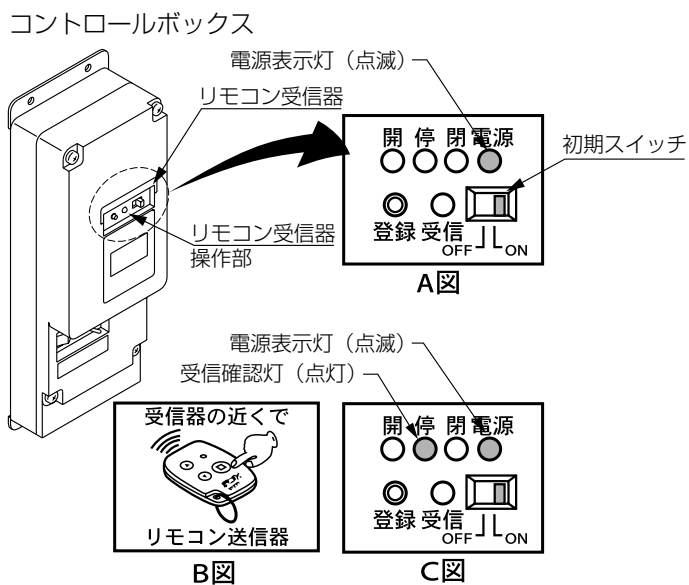
リモコン送信器を増やす場合、初期スイッチは「ON」の状態に登録してください。

次の手順で追加登録してください。



① 電動支柱のコントロールカバーをはずします。

- ・ネジ6本をはずし、コントロールカバーの下側を手前に引っ張るようにしてははずします。



② リモコン受信器の登録ボタンを押します。(A図参照)

- ・電源表示灯が点滅(緑色)します。(A図参照)
- ・リモコン送信器は、最大16個が「登録可能」です。

③ リモコン受信器の近くで、登録するリモコン送信器の「停止」ボタンを押します。(B図参照)

- ・リモコン受信器の受信確認灯「停」が点灯(赤色)し送信器登録が完了します。(C図参照)

④ リモコン送信器の登録完了後、リモコン受信器の登録ボタンを押して登録または電源表示灯が「点灯」に変わるまで待ちます。(D図参照)

- ・電源表示灯が「点灯」になり、受信器登録が完了します。

⑤ 電動支柱のコントロールカバーを取付けます。

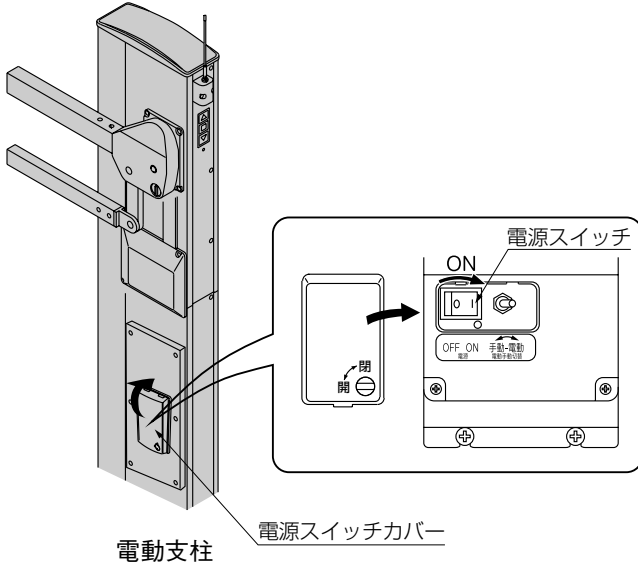
- ・ネジ6本で取付けます、ネジの締め忘れのないように注意してください。

ご注意

- ・リモコン送信器を増やす場合、初期スイッチは絶対に動かさないでください(「ON」側のままで固定)。「OFF」にすると、登録がすべて抹消され、リモコン送信器での操作はできなくなります。
- ・受信器への登録は、必ず電源表示灯が「点滅している1分間」に操作してください。

4 使用方法

4-1 電動支柱 電源の入れ方



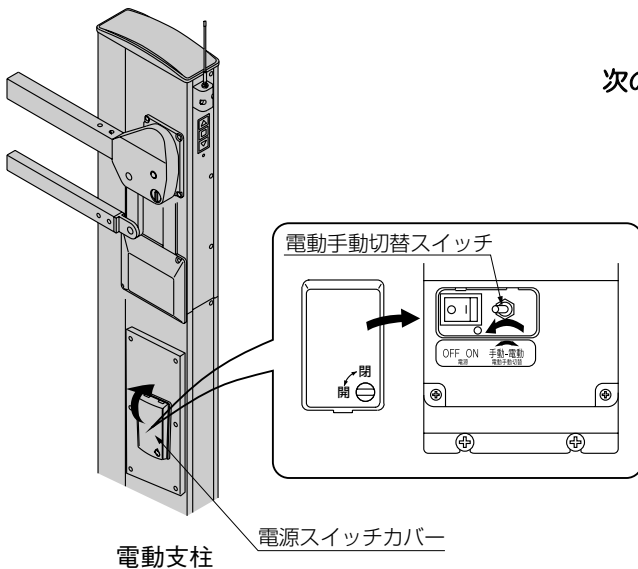
① 電源支柱の電源スイッチカバーを開け電源をONにします。

(注意)

- ・電源スイッチカバーには簡易錠が付いています。コイン等で開位置（溝が平行）まで回しカバーをあけます。

4-2 電動で動かせないときの操作方法

非常時（停電・故障・バッテリー充電時）など電動で動かせないときは、手動で動かすことができます。



次の手順で手動に切替えてください。

① 電動支柱の電源スイッチカバーを開け電動手動切替スイッチを手動側にします。

- ・手動開閉が可能となります。
- ・開閉には約7kgの力が必要となります。

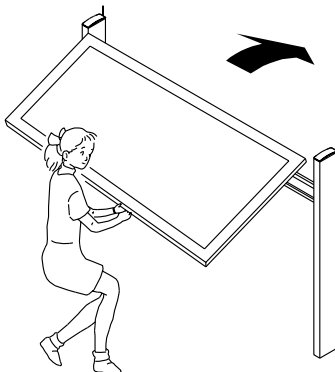
(注意)

- ・電源のON、OFFに関係無く、電動手動切替スイッチが電動側の時は、モーターによるロックがかかっています。（ロック力25～30kg）手動で開閉する場合、必ず電動手動切替スイッチを手動側にして使用してください。

② 扉の中心部を手で持ち開閉します。

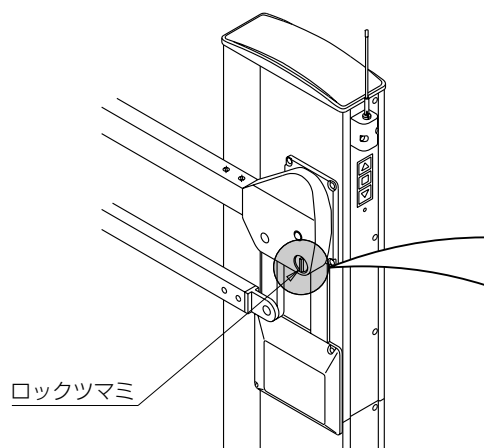
(注意)

- ・手動での開閉は非常時に限り行ってください。通常は電動操作でご使用ください。
- ・扉の開閉時には必ずロックツマミを解除の状態にしてください。ロック状態のまま開きますと駆動部が破損するおそれがあります。
- ・手動切替後、非常時が回復（電動で使用できる状態）したときは、コントロールボックスの電動手動切替スイッチを電動側にすることを忘れないでください。



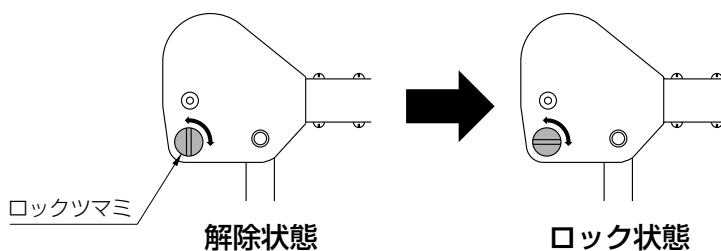
4-3 ロックツマミの使用法

ロックツマミにより扉を固定（ロック）することができます。



<ロックする場合>

ロックツマミを押し込んで、ツマミが水平な状態になるまでまわしてください。



<解除する場合>

ロックツマミを押し込んで、ツマミが垂直の状態になるまでまわしてください。

ご注意

- 本品は通常、電動状態でモーターによるロックがかかりますが、強風時、長期外出する時は安全のため、ロックツマミをロック状態にして扉を固定してください。
- 扉の開閉時には必ずロックツマミを解除の状態にしてください。ロック状態のまま開きますと、駆動部が破損するおそれがあります。

4-4 安全装置について

扉が動作中に人や車、障害物に衝突した時に、大事故を防ぐために安全装置設定されています。開閉操作中に安全装置が作動した場合、閉側は、約1秒後退し停止します。開側は、その場で停止します。安全装置が働く力は、7～8kgです。

4-5 ソーラー電源仕様の場合の使用方法 (詳細は、ソーラー電源セットの取付・取扱説明書をご参照ください)

ソーラー電源を使用する場合、電動で動作させる前にバッテリーの充電が必要となります。バッテリーは工場出荷段階では、充電が不十分ですので必ず充電した後、使用してください。

(1) バッテリーの充電方法

電源支柱の電源スイッチカバーをあげ、電源をOFFにし、晴天下で1~2日間放置してください。

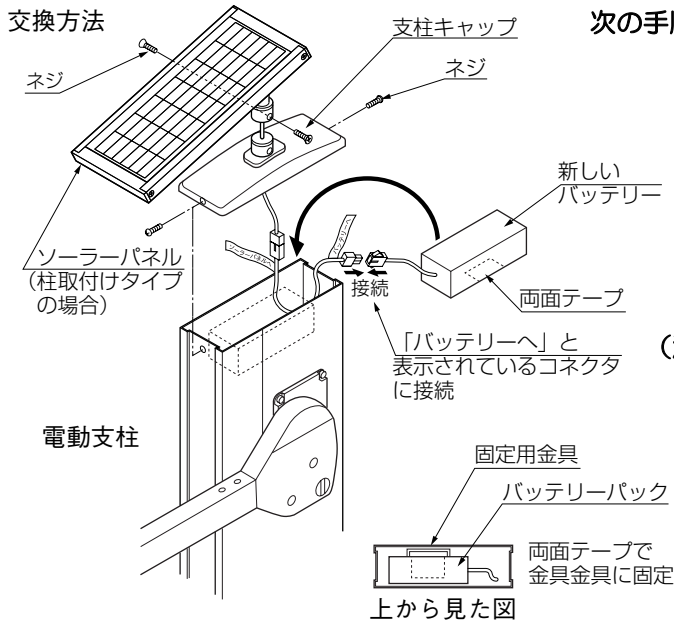
(注意)

- ・充電中は、電動手動切替スイッチを手動側にしてご使用ください。



(2) バッテリーの交換について

バッテリーには、寿命があります。交換時期の目安は、4~5年です。時期が来たら交換が必要となります。また、バッテリーを充電した後にすぐに扉本体が電動で途中で止まるなどのバッテリー不足と思われる症状が現れた場合、すみやかにバッテリーを交換してください。



次の手順でバッテリーに交換してください。

- ① 電動支柱の電源をOFFにしてください。
- ② 電動支柱の支柱キャップをはずしてください。
- ③ 新しいバッテリーに交換してください。
- ④ バッテリーの底面の両面テープで電動支柱内の金具に固定してください。
- ⑤ はずした支柱キャップを取付けてください。

(注意)

- ・バッテリーは使用環境により著しく寿命が短くなることがあります。
- ・交換したバッテリー(ニカド電池)はリサイクル可能な貴重な資源です。使用済のバッテリーは、リサイクルボックスが設置されている最寄りの電気店、小売店などへお持ちいただきリサイクルにご協力ください。

(3) 動作回数について

ソーラーシステムはソーラーパネル(太陽電池)が発電する電気をバッテリーに充電し、その蓄えた電気でオーバードアを動作させています。動作はすべてのバッテリー容量の影響を受けますので、目安となる動作回数を設けています。1日10往復以下または1週間で70往復以内(動作時の昼夜・天候は問いません。)

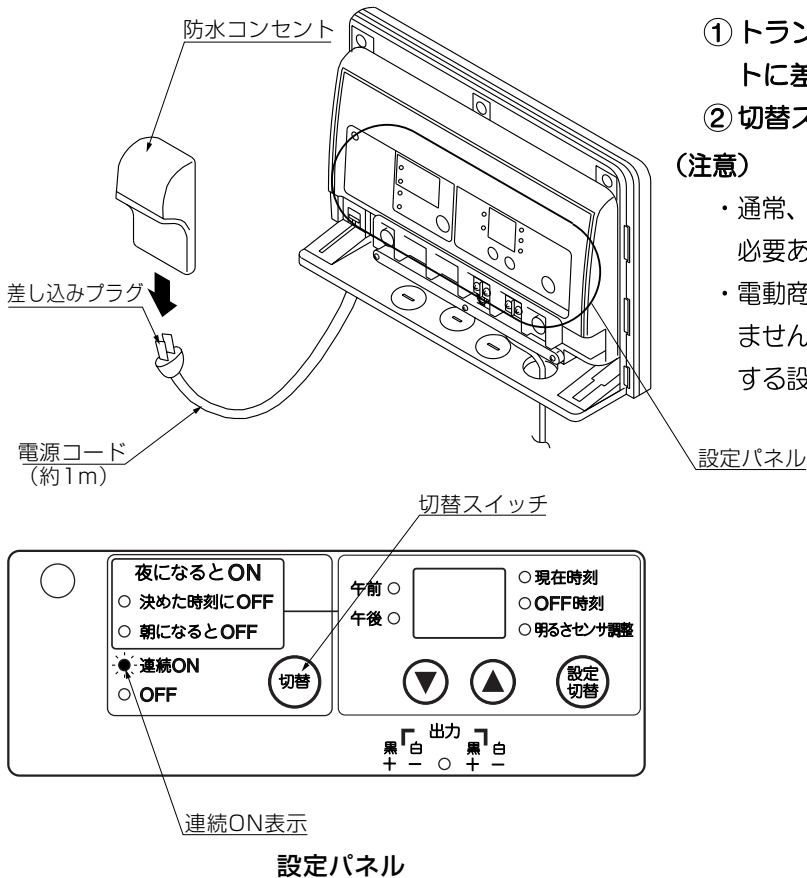
(注意)

- ・周囲の環境等で動作回数が少なくなることがあります。
- ・動作回数の制限を超えても使用は可能ですが、1年を通して安定した動作を得るために制限以内でご使用ください。

4-6 トランス電源ユニットを使用する場合の使用方法

詳細は、トランス電源ユニットの取扱説明書をご参照ください。

(1) 35Wタイプの出力の設定方法

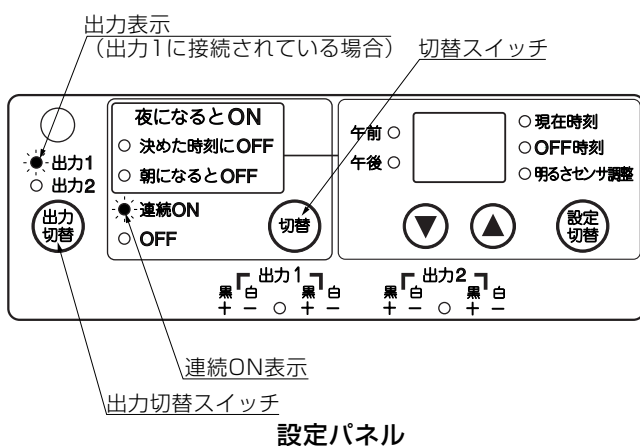


- ① トランス電源ユニットの差し込みプラグを防水コンセントに差し込んでください。
- ② 切替スイッチを押し連続ONを点灯させます。

(注意)

- ・通常、出荷段階では、連続ONになっていますので切替は必要ありません。
- ・電動商品を使用する場合、連続ON以外では、ご使用できませんのでご注意ください。他の設定は、照明器具に使用する設定です。

(2) 60Wタイプの出力の設定方法



- ① トランス電源ユニットの差し込みプラグを防水コンセントに差し込んでください。
- ② 出力切替スイッチを押し電動商品が接続されている出力に切替えてください。
- ③ 切替スイッチを押し連続ONを点灯させます。

(注意)

- ・通常、出荷段階では、連続ONになっていますので切替は必要ありません。
- ・電動商品を使用する場合、連続ON以外では、ご使用できませんのでご注意ください。他の設定は、照明器具に使用する設定です。
- ・照明器具を使用する場合の出力設定は、トランス電源ユニットの取扱説明書をご参照ください。

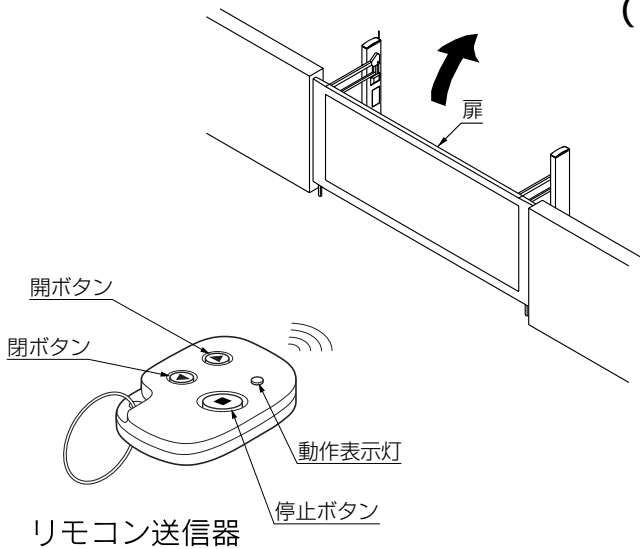
4-7 リモコン送信器での操作方法

リモコン送信器のボタンで扉を操作してください。

(1) 扉を開ける時

「開」ボタンを1回押し2秒以内にもう1回押します(ダブルクリック) 動作表示灯が「点滅」し送信され、扉は自動的に開きます。

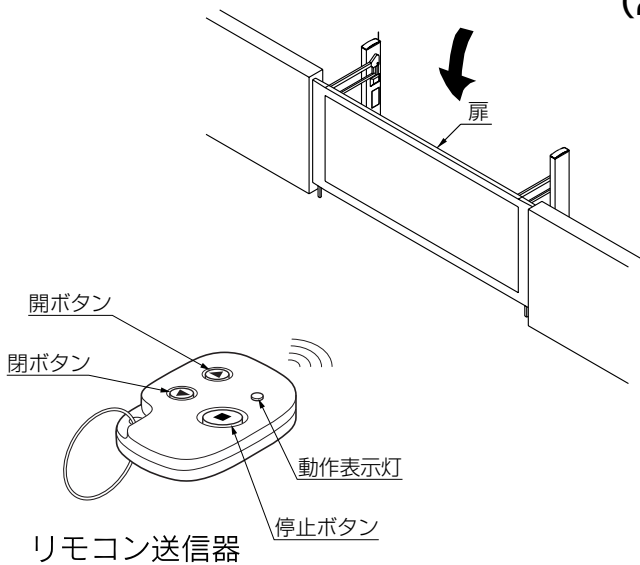
- ・動作途中で停止するときは「停止」ボタンを押します。



(2) 扉を閉める時

「閉」ボタンを1回押し2秒以内にもう1回押します(ダブルクリック) 動作表示灯が「点滅」し送信され、扉は自動的に閉まります。

- ・動作途中で停止するときは「停止」ボタンを押します。



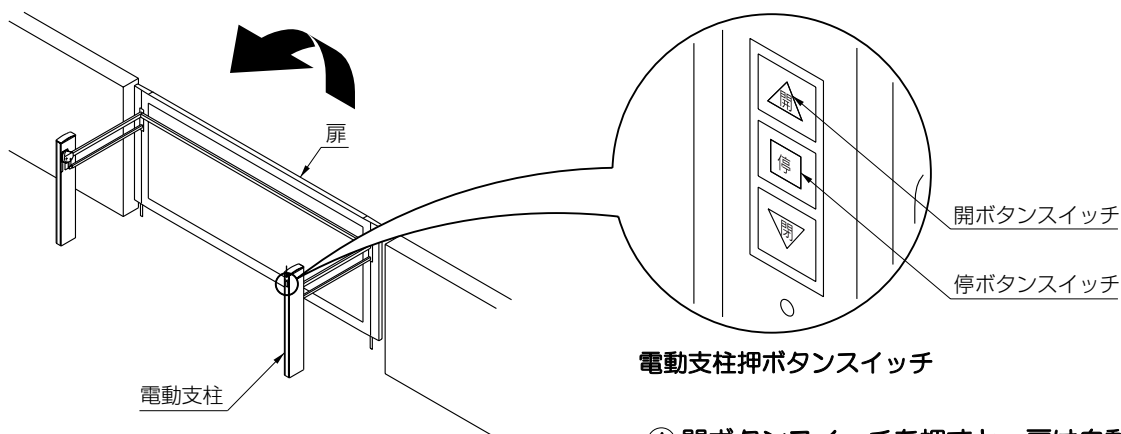
ご注意

- ・「開または閉」ボタンを押す間隔が2秒を越えると送信されませんのでご注意ください。
- ・リモコン送信器の実用到達距離約10m以内で操作してください。
- ・開閉動作中、その逆方向へ操作する場合、必ず「停止」ボタンを押してから、次のボタンを操作してください。
- ・安全上「停止」ボタンに限り1回押すだけで送信されるようになっています。

4-8 電動支柱押しボタンスイッチでの操作方法

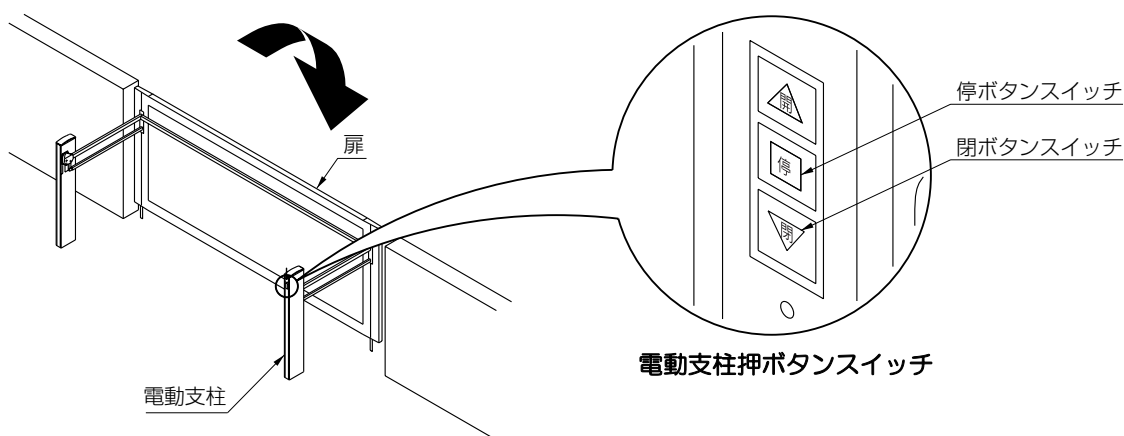
電動支柱に付いている押しボタンスイッチを押して扉を操作してください。

(1) 扉を開けるとき



- ① 開ボタンスイッチを押すと、扉は自動的に開きます。
・途中で停止させるときは、停ボタンスイッチを押します。

(2) 扉を閉めるとき



- ① 閉ボタンスイッチを押すと、扉は自動的に閉じます。
・途中で停止させるときは、停ボタンスイッチを押します。

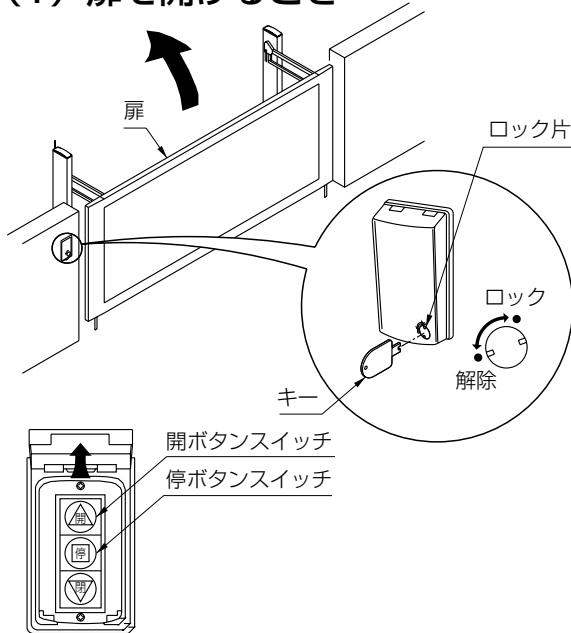
ご注意

●開／閉動作中に、逆方向の閉または開動作をさせるときは、必ず一度停ボタンスイッチを押してから、次の押しボタンスイッチを押してください。

4-9 外部押ボタンスイッチ(オプション)での操作方法

別売り品で外部押ボタンスイッチをお求め頂いたお客様は、リモコン送信器とは別に扉を操作できます。

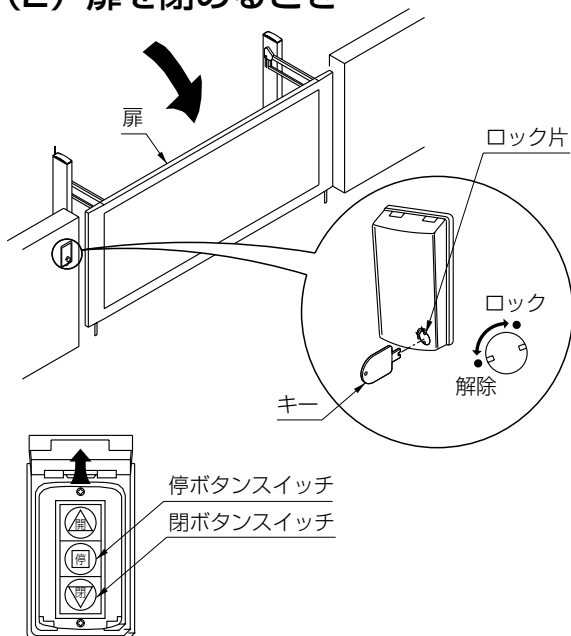
(1) 扉を開けるとき



外部押ボタンスイッチ
オプション

- ① 付属のキーをロック片に差し込み、左にまわしてカバーを開けます。
- ② 開ボタンスイッチを押すと、扉は自動的に開きます。
・途中で停止させるときは、停ボタンスイッチを押します。
- ③ カバーを閉じ、付属のキーをロック片に差し込み、右にまわしてカバーをロックします。

(2) 扉を閉めるとき



外部押ボタンスイッチ
オプション

- ① 付属のキーをロック片に差し込み、左にまわしてカバーを開けます。
- ② 閉ボタンスイッチを押すと、扉は自動的に閉まります。
・途中で停止させるときは、停ボタンスイッチを押します。
- ③ カバーを閉じ、付属のキーをロック片に差し込み、右にまわしてカバーをロックします。

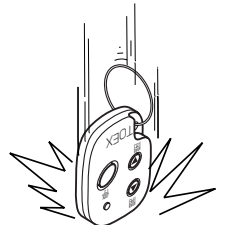
ご注意

•開/閉動作中に、逆方向の閉または開動作をさせるときは、必ず一度停ボタンスイッチを押してから、次の押ボタンスイッチを押してください。

4-10 ご注意とお願い

(1) リモコン送信器について

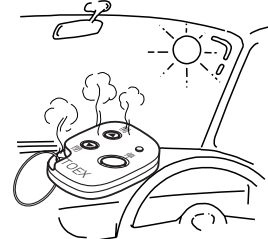
- リモコン送信器で扉を動作させるときは、必ず周囲の安全を確認してください。



- リモコン送信器を床に落としたり、衝撃を与えないでください。



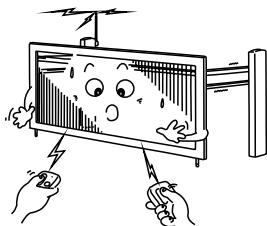
- リモコン送信器は生活防水構造になっていますが、雨でぬれる場所またはぬれた物の上に置かないでください。



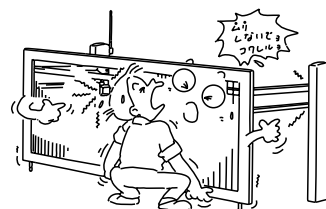
- リモコン送信器を温度が50℃以上になるような、夏季炎天下の車内などには放置しないでください。

- リモコン送信器の実用到達距離は約10mですが、周囲の状況により到達距離が短くなることがあります。
- リモコン送信器の電池が消耗したとき、作動しないことがあります。
- リモコン送信器の押ボタンスイッチを0.3秒以上押ししていない(一瞬ふれた程度の)ときは、作動しないことがあります。

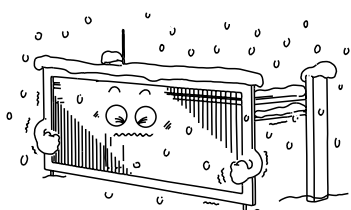
(2) 扉本体について



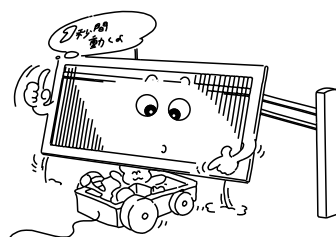
- 2台以上のリモコン送信器から同時に送信したとき、および各種無線器コードにて電話などの電波を受けたときは作動しないことがあります。



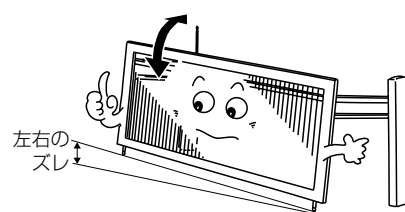
- ロックツマミがロック状態のまま、無理に扉を開けないでください。駆動部などを破損するおそれがあります。



- 降雪時は扉とアームに積った雪を取り除いてから動かしてください。重みで上がらないこともあります。また、故障の原因になります。



- 扉が障害物にあたったときには安全装置が働き、閉時は逆方向へ約1秒間動き、停止します。開時はその場で停止します。障害物を取除き、閉または開ボタンスイッチを押して扉を動かしてください。



- 本製品は、電動支柱側で駆動(シングルモータ)していますので開閉時、扉の左右にズレが生じることがありますが、動作、耐久性には影響ありません。

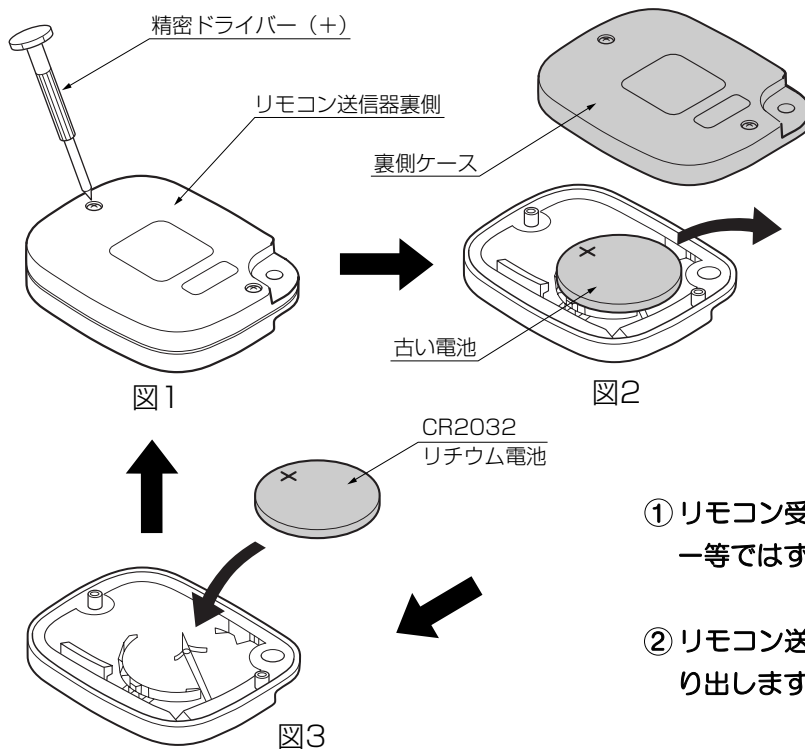
- 電動支柱の浸水時などは、電源を切り最寄りの東洋エクステリア各支店・営業所にご連絡ください。
- 製品の分解や改造は絶対にしないでください。
- 製品に関する移設・増設などは、施工店・電気工事店(電気工事有資格者)または最寄りの東洋エクステリア各支店・営業所にご相談ください。

5 調整および交換方法

5-1 リモコン電池の交換

リモコンの到達距離が短くなったり、動作表示灯が点灯しなくなるなどの兆候があった場合は、速やかに新しい「リチウム電池CR2032」とお取り替えください。

電池寿命は、1日10回（開・閉・停いづれか1操作/回）使用にて約5年です。



- ① リモコン受信器の裏側のネジ（2箇所）を精密ドライバー等ではずします。（図1参照）
- ② リモコン送信器の裏側のケースをはずし古い電池を取り出します。（図2参照）
- ③ 新しい電池は「+マーク」が見える向き（上側）にはめ込みます。（図3参照）
- ④ はずしたケースを取付けます。（図1参照）

ご注意

- 電池の極性「+、-」を確認の上セットしてください。
- 電池交換の際は、水分やほこり等が入らないようにご注意ください。また、回路部に触れぬようにご注意ください。

5-2 調整について

各部の調整を希望される場合には、施工店、または最寄りの東洋エクステリア各支店・営業所にご相談ください。

6 お手入れについて

(1) 年に2～3回水洗いをし拭きとってください

- 汚れがひどい場合には、中性洗剤をうすめた液で汚れを落とした後で、洗剤が残らぬようよく水洗いをし拭き取ってください。
- 電動ユニットには電装部品が内蔵されていますので、直接水道ホースなどで水洗いをしないでください。ぞうきんなどで汚れを軽く拭き取ってください。
- シンナー・ベンジンなどの有機溶剤は使わないでください。塗料がはげたりすることがあります。

(2) キズは補修してください

- あやまってキズをつけた場合、当社純正補修塗料で補修してください。放置すると腐食の原因となります。

7 修理を依頼する前に

故障かなと思われたとき、修理を依頼する前にお調べください。
直らなかったときには、修理を依頼ください。

このようなとき	点検	処置
電動で作動しない、途中で停止する	電動支柱の電源スイッチがOFFになっていませんか。	電源スイッチをONにする。 (6ページ参照)
	電動支柱の電動手動切替スイッチが手動側になっていませんか。	電動手動切替スイッチを電動側に する。(6ページ参照)
	バッテリーの充電は、十分ですか。 (ソーラー仕様の場合)	バッテリーを充電する。 (8ページ参照)
	ソーラーパネルが樹木や建物の陰に なっていませんか。 (ソーラー仕様の場合)	バッテリーの充電が不十分になりや すいのでソーラーパネルの移設をお すすめします。
	バッテリーの寿命の時期がきていませんか。 4~5年が目安です。(ソーラー仕様の場合)	バッテリーを交換してください。 (8ページ参照)
	トランス電源ユニットの電源が入っ ていますか。	トランス電源ユニットの差し込みプ ラグを防水コンセントに差し込む。 (9ページ参照)
	トランス電源ユニットの出力が「連続 ON」になっていますか。	トランス電源ユニットの出力を「連 続ON」にする。(9ページ参照)
	扉軌道跡上および接地ストッパーの まわりに障害物などありませんか。	障害物を取り除く。
	ロックツマミがロック状態になって いませんか。	ロックツマミを解除する。 (7ページ参照)
スローで動作する	※注 全閉状態以外で電源を一度OFFに していませんか。	扉を全閉状態にする。
リモコン送信器の開閉押ボタ ンスイッチを押しても動かない	リモコン送信器の操作方法がまちが っていませんか。	「開または閉」ボタンを1回押し2秒 以内にもう1回押し。(ダブルクリック) (10ページ参照)
	リモコン送信器の電池が消耗してい ませんか。(送信表示灯が点灯して いますか。)	新しい電池に交換。 (14ページ参照)
	リモコン送信器の押ボタンスイッチ を0.3秒以上押していますか。	必ず0.3秒以上押す。
	2台以上のリモコン送信器から同時 に発信していませんか。	同時に発信しない。
	各種無線器、コードレス電話などを 同時使用していませんか。	同時使用は避ける。
	操作位置がアンテナから遠すぎませ んか。	10m以内で操作。
	リモコン送信器が受信器に登録され ていますか。	リモコン送信器に登録。 (4,5ページ参照)
	リモコン送信器の初期スイッチをOFF にしていませんか。	初期スイッチをOFFにするとリモコン送信器 の登録がすべて抹消されリモコン送信器で の操作ができなくなります、リモコン送信器を 再登録してください。(4,5ページ参照)

ご注意

●本製品は、インバータモータにより通常はスロースタート・スローストップします。ただし扉が全閉以外の場所で電源をOFFにし、その後電源をONにすると扉の動作は、スロー動作のままとなります。スロー動作になった場合、必ず一度全閉状態にしてください。一度全閉状態にすると通常の動作にもどります。

8 保証と修理

(1) 保証書について

- この電動オーバードアには保証書が付いています。
- 保証書は必ず施工店名、施工日などの所定事項を確かめて施工店からお受け取りください。
- 保証書記載内容を確認のうえ、大切に保管してください。

(2) 保証期間

- 保証期間内でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

	施工日	1年	2年
電装部品	無料	有	料
電装部品以外	無	料	有 料

(3) 修理について

製品に異常が生じたときは、お取付の施工店または、お近くの東洋エクステリア各支店・営業所にご相談ください。

修理を依頼される時下記のことをお知らせください。

故障の状況	できるだけ詳しく
製品名	製品にシール表示してある製品名
施工日	年 月 日
ご氏名	
ご住所	
電話番号	
道 順	付近の目印などもお知らせください

9 別売り品

下記のような別売品がありますので、目的に合わせてご利用ください。

- リモコン送信器 (KYZ77)
送信器を増やしたいとき、あやまって破損・損失したときにお申し込みください。
- ロング接地ストッパー
扉下端と地面の間隔が広いときにご利用ください。
- 補修塗料
あやまってキズをつけたときの補修にご利用ください。
- 外部押ボタンスイッチセット (KUK51)
扉を道路側または見通せる離れた場所から操作したいときにご利用ください。
- アンテナ延長ケーブルセット (KYZ81)
アンテナを見通しの良い場所に別設するときにご利用ください。
- 交換用バッテリーパック (KAR21)
バッテリー交換時期がきたらお求めください。

10 仕様

項目	仕様
入力電圧	DC12V
消費電力	8.4VA (動作時平均)
モータ定格出力	10W
開閉時間	約20秒
操作方法	押ボタンスイッチ、リモコン
リモコン到達距離	10m (周囲の環境で到達距離が短くなる ことがあります。)



直昇電動オーバードア 保証書

ソーラー/DC12V仕様

製造No.

保 証 期	対 象 部 品	期 間(お引渡し日より)
	本 体	2 ヶ 年
	但し電装部品	1 ヶ 年
お引渡し日	平成 年 月 日	
お 客 様	ご住所	
	お名前	様
	電 話	()

本書はお引渡し日から左記期間中故障が発生した場合には、本書記載内容で無償修理を行うことをお約束するものです。詳細は下記記載内容をご参照ください。
※お引渡し日、お客様名、施工店名が不明の場合は、保証し兼ねますので施工店に必要事項を記入していただいで下さい。又本書は再発行致しませんので大切に保管して下さい。

施 工 店	住所・店名	印
	電話 ()	

東洋エクステリア株式会社

〒160-0022 東京都新宿区新宿1-4-12 TEL.(03)3341-5051(代)

1. 保証者

東洋エクステリア株式会社(以下当社という)が当該商品の所有者に対して、以下に記載のとおり責任を負う。

2. 保証内容及び保証期間

1) 保証の内容

保証期間内に通常の取扱いによって生じた品質不良、性能及び機能の低下について、当社が認定したものは、当社が無償で修理を行なう。

2) 保証期間

当該商品の取付け完了後2年間。(電装部品については1年間)

3. 免責事項

保証期間内でも原因が次のような場合は、有償修理となります。

- (イ) 環境が特に悪い地域の場所に取り付けられたもの。(例えば塩害や大気中の砂塵や煤煙、各種金属粉、亜硫酸ガス、アンモニア、車の排気ガス等の反応物質が付着して起こる腐食、高温、低温、多湿による損傷や故障)。
- (ロ) 当社の表示した取り扱い方法(取扱説明書、本体添付ラベルの注意書)から逸脱したもの(例えば、中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したアルミ部材等の汚れのお手入れ)。

(ハ) 使用者もしくは第三者の故意、過失、または不当な修理や改造によるもの。

(ニ) 施工完了後の移動、移設による損傷または故障。

(ホ) 不可抗力(天災、地変、地盤沈下、火災、爆発、騒乱、落雷、異常電圧等)により発生したもの。

(ヘ) エクステリア構成材であっても当社供給範囲外のもの(波板等)。

(ト) 本来の使用目的以外の用途に使用されたもの。

(チ) 土間工事等の外溝工事及び電気工事に起因するもの。

(リ) 施工完了後、引渡しまでの管理等の不備によるもの。

(ヌ) 保証書に取り付け年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。

(ル) 電池・電球等消耗品の損傷や故障。

※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理につきましても、お買い上げの施工店又は当社各支店営業所にお問い合わせ下さい。

東洋エクステリア株式会社

札幌営業所 011-640-8000 (代)

東北支店 022-246-7510 (代)

関東東支店 043-207-8251 (代)

関東西支店 03-3290-8510 (代)

長野営業所 026-263-0861 (代)

静岡営業所 054-238-3301 (代)

中京支店 052-807-5501 (代)

関西支店 06-6844-9232 (代)

中国支店 086-478-5533 (代)

広島営業所 082-849-5660 (代)

九州支店 0943-32-3100 (代)

南九州営業所 099-256-8955 (代)

お客様相談室

0120-171-705

取説コード

UD038

200003A
200101B